



インドネシア人実習生から
お土産に頂いた人形。
インドネシアの伝統芝居
WAYANG GOLEK(ワヤン
ゴレ)という人形劇に使われ
る操り人形のレプリカだそ
うです。

株式会社きぼう国際外語学院

企画・編集 澁谷 健司

9月に入り、今年は、早くも秋の気配が感じられるようになって来ています。特に朝夕は、肌寒さを感じるほどです。私たち日本人も、今日は半袖シャツ？長袖シャツ？と迷う日が出てきましたが、南国から来た実習生の皆さんは、迷わず長袖！私たちが感じているよりも、初秋の日本の気候を「さむい」と感じているようです。先日は、朝の教室に行ってみると、暖房を入れている教室があり驚きました。この「季節の変わり目」は、実習生の皆さんには、なかなか手強いものなのかもしれません。この時期は、日本人でも風邪をひきやすくなります。毎度毎度のこととなりますが、「健康あつての日本語学習・技能実習」。実習生の皆さんにも体調の自己管理を呼びかけ、夏から秋への季節の変わり目を乗り切っていきたいと思います。

あじけんスコープ Vol.57 ～あじけん講師ファイル～

初めまして。須藤映子と申します。本校に勤務して、1年が経ちました。私は、「実習生の皆さんが、周囲の人々と気持ち良く、そして安全に技能実習に取り組むことが出来るように」と言うことを常に念頭に置いて授業を行っています。

これは私が、実習生に限らず、誰しも働く人々にとって大切なことであると思っているからです。実際の日本語指導では、特に「コミュニケーション手段としての日本語と、日本のマナーの大切さ」を伝えることを心掛けています。どんなに正確で流暢な日本語を話すことが出来たとしても、態度が伴わなければ円滑なコミュニケーションは図れないからです。また、指示が理解出来ないのに、聞き返しや確認といったコミュニケーションをとらずに作業に入るとは、実習現場での危険性を高めることに繋がります。単に語彙の意味用法を学習するだけでなく、学習した日本語を使って、日常生活の様々な場面に応じて、その場に合った日本語を使い、適切な態度をとることが出来るようなコミュニケーションスキルの育成に取り組みながら、これからも技能実習生の皆さんを応援していきたいと思ひます。



今月の実習生



インドネシアから持ってきたジャニーズグッズの団扇とクリアファイルを手にするユリさん

今月の実習生は、とてもユニークな勉強法で流暢な会話力を身に付けたインドネシア人実習生の YULI HASANH (ユリ) さんです。

ユリさんは、来日前の日本語学習期間が4ヶ月なのに大変流暢な日本語を話していました。不思議に思い詳しく話を聞いてみてびっくり。会話力向上の秘訣は、なんとジャニーズの歌やドラマの視聴でした！

私は中学校時代からジャニーズのNEWSとジャニーズWESTが好きです。そこから毎日彼らの歌を聞いたり、ドラマをみたりしました。ドラマをみながらじまをみて言葉をあげました。こういう勉強のしかたは言葉だけじゃなくて聴覚と会話も勉強することが出来ます。今せっかく日本に来ましたからNEWSとジャニーズWESTのコンサートぜひみに行きたいです。

あじけん流日本語授業

危険予知訓練（KYT）を取り入れた活動

～ どこがきけん？ どうしてあぶない？ どうすればいい？～

今月のあじけん流日本語指導は、技能実習生の労働災害防止をテーマに、現在多くの事業所で導入されている危険予知訓練（以下：KYT）を取り入れて行われた内容重視型授業（コンテンツベースインストラクション）

「どこがきけん？ どうしてあぶない？ どうすればいい？」の様子をレポートします。

まず、授業の導入として、外国人労働者の労働災害（休業4日以上死傷者数）の発生件数（H28年度2211人）、その中に占める技能実習生の割合（同496人）等の実際のデータ資料を用いて、自分達が置かれている労働環境や、その対処法を学びます。ここで、「あぶない」「きをつける」等の危険回避語彙や、「ヘルメット」「安全ベルト・安全靴」等の保護具関連の語彙に触れることが出来ます。次に、実際にKYTを体験します。まず、講師が提示した作業現場のイラスト（フォークリフトでの荷降し作業等）の説明を受けます（写真1）。次に、その作業現場の、どこが危険か？ どうして危険か？ どうすれば安全に作業ができるか？ の3点について、グループ内で話し合います（写真2）。最後に、各グループの代表が、自分達が話し合った内容をクラス全体にレポートします（写真3）。この活動は、実習生の皆さんが、実習現場で必要とされている労働災害の予知・回避方法を学びながら、日本語コミュニケーション力の育成も図ることができるので、正に「一石二鳥」の活動と言えます。

資料出所：厚生労働省作成「技能実習生の労働災害を防止しよう」より

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11200000-Roudoukijunkyo/h2905ginou.pdf>

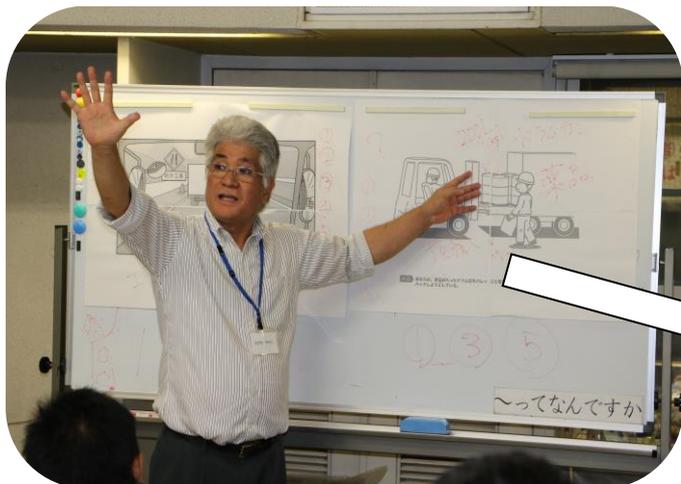


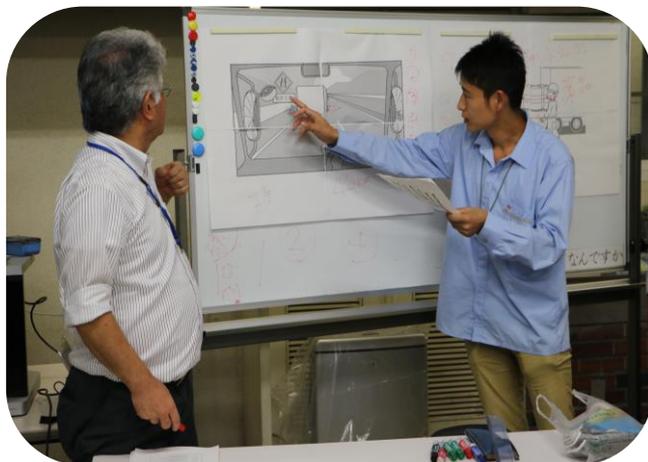
写真1：作業現場の状況（フォークリフト作業）説明



写真2：作業現場のイラストが描かれたワークシートを見ながらKYTに取り組む中国人とベトナム人実習生の皆さん



写真3：グループ内での話し合いの結果をレポートするベトナム人実習生（左）と、中国人実習生（右）



※ 当校ホームページ <http://www.aiiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます